

令和5年3月7日

立つ鳥跡を濁さず

この景色。私にとっては、本当に懐かしい眺めでした。

これは、今日（3/7）の放課後の9年生の廊下です。

教員や生徒でなければ、「なんで机や椅子、配膳台、傘立て、教卓などが廊下に出してあるの？卒業式が10日に迫っているのに・・・」と不思議に思う景色です。

ただ、学校では「あるある」景色なんです。この景色は、年度末によく見られ、9年生は卒業式数日前、7・8年生は修了式の前日か前々日にこの景色になります。

もうお分かりになられている方もいらっしゃると思いますが、これは、教室のワックスがけをするために、教室内の机や椅子等を廊下に出しているんです。

「あーねー。そういえば、自分たちの時もしてた！ワックスがオレンジ色のベト

ベトした、匂いがすごいやつ！ワックスがけ担当の友達が、滑って転んで制服がベタベタになってた！」（※オレンジ色のベトベトワックスは昭和50～60年代かな？今は白色のさらさらしたワックスです。）

9年生215名が、あと3日で、この学び舎を巣立ちます。その前に、9年生が3年間過ごしたこの校舎に感謝の気持ちを込め、自分たちの教室のワックスがけをしました。37年の時を経てもなお河東中学校はきれいに保たれています。

「立つ鳥跡を濁さず」

今までの卒業生が、この思いで校舎をきれいにしておいていくというバトンは、今もなお引き継がれています。

必ずやこのバトンは現8年生（第38回卒業生）に引き継がれます。

